

向陽台病院インフォマガジン

こもれび

夏

第2号

発行:2004年 7月 1日
向陽台病院広報委員会



季節の花

CONTENTS

- こもれび特選・肥後狂句
- 部署紹介…南2病棟
- OT・作業療法
- 新人紹介
- 永年勤続コラム
- こもれび・ぷらざ



布袋葵(ほていあおい)

別名・布袋草。熱帯アメリカ原産の水生植物。池や水草で栽培し観賞する。繁殖力旺盛で、暖地では小川や池沼に野生化する。無数のひげね根から多数の葉が群がり生える。盛夏には淡い紫色の六弁花を開く。

こもれび特選・肥後狂句

3月 笠

「一人住まい」「はらはらする」

- はらはらする 息子の部屋を 模様替え
- 一人住まい 寂しさをかくし 彼さがす
- 一人住まい どきやるのかい 夕食は
- 友達に 言われて はらはらした
- はらはらする 私はバスに 乗りたくない
- 一人住まい やつてみたいな わたしも
- はらはらする お金も無ければ
- 健康も無い
- 一人住まい 将来二人に なれたらな!
- はらはらする そんな世の中 誰がした?
- 一人住まい 裕福だったら いいけれど!
- はらはらする そんな毎日の連続だ
- 一人住まい 自由と寂しさ両極端
- はらはらする あの娘は僕を 好きなのか?
- 一人住まい これが自分の未来かな!
- はらはらする これで足りるか レジに出す
- 一人住まい 今日もわびしく 日が暮れる
- はらはらする 息子の運転
- 慣れたわりには 気が落ち着かん
- はらはらする 今月監査で 大丈夫かな?
- はらはらする 就労支援も 楽じゃなか
- 一人住まい 帰って食べる 一人飯
- 一人住まい しかしやつぱり 二人住まい
- はらはらする 都会暮らしは 慣れたかい?
- はらはらする 金はあるかい? 食べたかい?

4月 笠

「やりばなし」「おたがいさま」

- やりばなし ギター弾きよる 楽しくて
- やりばなし 金使いみち 貯金ゼロ
- おたがいさま 君のすること ぼくのこと
- やりばなし 食欲ある 今日この頃
- やりばなし 暇な時間を どうつぶす?
- やりばなし 思ってみても やつぱり付き合い
- やりばなし 人をだまして 金を取る
- おたがいさま カレーの宅配 料金皆で
- おたがいさま 本人いぬ間の 言いたい放題
- おたがいさま みんなやつぱり 地元が一番
- おたがいさま 困ったときは 誰かに頼る
- たけのこか みんなで開んで おいしいなあ
- やりばなし 手を広げすぎ 片付かん
- やりばなし 花見した後の 塵は山んごう
- おたがいさま 体調の悪いときは お互いに助け合う

投稿箱にたくさんあり、とてもうれしかったです。どしどしご応募ください。

ひとくちメモ 「挨拶の意味」



挨拶は人と人とのつながり、コミュニケーションの基本だと言われています。明るい挨拶を交わすことは誰でも気持ちのよいものです。ところで挨拶という字の意味は、「挨」は「心を開くこと」、「拶」は「相手に近づくこと」をご存じでしょうか。挨拶は「自分の心を開いて相手の心に近づき、相手の心を開くもの」と言えるでしょう。病院のなかでも心を込めた挨拶を交わし合えば、お互いの心と心の通い合い、信頼関係を築くことができるのではないのでしょうか。

といっても、相手の心に響く挨拶をしようと思ってもなかなか実践できないものです。そこで次の3つのポイントに注意して挨拶をしてみたいかがでしょう。

- ①相手の目を見て、豊かな表情と適切な挨拶言葉で
- ②気分次第、相手次第ではなくいつでもどこでも誰にでも
- ③まず自分の方から先に
まずは、出勤して上司や同僚と交わすひと声その日のバロメーターです。明るく元気な挨拶をしましょう。

そして、状況に合わせて心に込めた挨拶をしましょう。

朝の「おはようございます」、待合室や応接室での「お待たせしました」、お年寄りには「今朝はお加減いかがですか」、病気がちの人には「どうぞお大事に」、道や廊下ですれ違ったときの「会釈」。どんなシーンでも、真心のこもった挨拶が、きっとあなたの気持ちを届けてくれるはずです。

南2病棟

師長 澤田しず代

部 署 紹 介

南2病棟は、平成13年5月に急性期治療病棟として認可をうけ発足しました。

平成15年1月からは定床<54床>のうち、14床をユニット(思春期・摂食障害)としてたちあげ、新たな取り組みが始まりました。

精神科急性期治療病棟の目的は、「急性期の症状に対して集中的な治療を提供する」ことです。入院後3ヵ月以内の退院を目指し、自宅・アパート・施設など社会復帰につなげることを目標に取り組んでいます。

入退院の激しいなかで、看護師22名・看護補助者6名が他の職種と連携を取りながら、チーム医療の一員としての自覚が持てるよう努力しているところです。

現在、入院患者数が30床代に激減していますが、そのことに心を痛



めると同時に、自分たちの看護を問われているような気がします。月平均の入退院が20名～30名ある中、急性期病状や思春期のエネルギーに圧倒されがちな日々です。

いろいろな問題にぶつかるたび

に面食らい、試行錯誤の毎日ですが「今、できることは何か？」を考え、患者さんに満足していただける看護が提供できるように頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

ほっと ひといき



3号線を行きかう車の中、新緑に囲まれ木のぬくもりと静かなBGMを楽しみながら、喫茶室『向さき』がオープンしました。数少ない精神障害者の就

労支援の場所として開設し、メニューはコーヒーや紅

茶、ジュースと、決して豊富ではありませんが、スタッフの手作りクッキーやパンと一緒にゆとりの時間を持ちませんか？

お客様への対応に、まだ慣れないことが多いのですが、就労メンバーとよりよいサービスを頑張っています。よろしくお願いいたします。



OT・作業療法

作業療法(OT)とは?

作業療法とは、OT (Occupational Therapyの略)と呼ばれ、向陽台病院で行われている精神科リハビリテーションの治療プログラムのひとつです。

では、その作業療法とは何なのでしょう?簡単に説明すると、『病気によって生活に障害が生じている人に対し、その人がより良い生活を送るために具体的な作業活動を行いながら治療・援助する』ことです。単に仕事のみではなく、炊事や洗濯、人との話やテレビを見たり、もちろん仕事や時に遊んだり…といった人が日常生活を送るうえでの生活全般の諸活動をいいます。

向陽台病院の作業療法室には現在作業療法士5名、作業療法助手1名の計6名が勤務しています。

基本的に、月曜日から土曜日まで行われており(土曜日は午前中のみ)、活動時間については、午前中は9時40分から11時40分まで、午後は14時30分から16時30分までの

1日2回の実施となっております、入院治療中の方々が毎日延べ130名程度参加されています。

当院で実施している作業療法は、自分らしく、より健康的に家族や社会で患者さんが主体的な生活を取り戻すための治療・援助を行います。

主な目的

- 気分転換や気分の発散を行う
- 自分の気持ちを表現し、人との付き合い方を練習する
- 体力づくりや自信を付ける
- 集中力をつけたり、上手に休息をとる練習を行う
- 生活リズムを整える
- 金銭管理や余暇時間の過ごし方を見つける
- 自分の病気についてみんなで考える

活動の種類・内容

創作活動(ビーズ細工、編み物、革細工など)、読書、スポーツ、体操、ビデオ鑑賞、音楽活動、園芸などを各



曜日ごとで毎日行っています。

目的や活動内容については人によってさまざまですが、各自自分にあった活動に参加されています。

作業療法作品について

主にビーズ細工では指輪やブレスレット、ネックレスなどの装飾品、革細工では眼鏡ケースや小銭入れなど実用的なものをよく作っています。

OTで作成した作品などについては、当院の文化祭や毎年上通りで行われているチャリティーバザーなどで展示していますので、機会があればぜひどのようなものを作っているのかご覧になってください。

若い(?)スタッフばかりで毎日が試行錯誤の連続ですが、患者さんや他職種のスタッフに支えられ、切磋琢磨しながら取り組んでいます。今後はもっといろいろな活動を行っていけたら…と考えているところです。個人的に趣味や特技をお持ちの方々、向陽台病院の作業療法活動にぜひ一緒に取り組んでみませんか?この機会に作業療法について皆様に関心を持っていただけたら…と思います。



新 人 紹 介



精神科医師
松本 宏美

向陽台病院の「患者さんに対する姿勢」に魅かれ就職いたしました。救急医療が専門でしたので精神科は0からの出発です。よろしくお願いいたします。



精神科医師
津田美佳子

4月から、毎週水曜日に世話になることになりました。至らない面もあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



看護師
南本 康子

患者さん・スタッフとの出会いを大切に、チームの一員として看護の役割の一つひとつ学んでいきたいです。



看護師
月野フクヨ

①環境に慣れる。②自分のことから行う。③マイペースで行う。以上3点をモットーに仕事に励みます。



看護師
山下 武代

患者さんのニーズを考え、行動変容に向けての手助けや気持ちを支えることのできるよう努力していきたいです。



看護師
高橋真梨子

多忙な日々流されず毎日を大事にして、患者さんの思いと自分の素直な気持ちを見失わないようにしたいです。



看護師
荒木理恵子

精神科の広い領域のなかで独自の知識と技術を深め、悩める人にとって、悩み不安を話してもらえような存在価値のある人に成長していきたいです。



看護師
山口 恵子

精神科は初めてで、一から勉強のやり直しです。今は患者さんの優しさに助けられてばかりですが、早くお役に立ちたいと思います。



看護師
濱崎 ゆき

看護師となり1年目です。知識も技術も未熟ですが、個別性を重視した看護が実践できるよう努力していきたいです。



准看護師
黒木 智

今年から准看護師となり、高看の学校に入学することができたので、仕事と勉強の両立ができるように頑張ります。



准看護師
西 浩二

看護という仕事について緊張感を持って励んでいます。まずは少しずつ慌てず着実にいきたいです。



准看護師
芦塚 和代

4月から准看護師としての勤務が始まり、責任の重大さを実感しています。今後も、一つひとつの業務を確実に責任を持って行い、患者さんとの関わりを大切にしていきたいです。



准看護師
池田 直樹

忙しい業務のなか、仕事を頑張っています。一つひとつ確実に業務を覚えていきたいです。



看護学生
宮川 昌幸

分からないことがいっぱいあると思いますけれど、勉強と仕事を両立して頑張っていきたいです。



作業療法士
田上 慎也

仕事も少しずつですが慣れてきました。今後も仕事に責任を持ち、日々自分を高めていきたいです。



臨床心理士
大和 義孝

4月に入職しました大和義孝です。患者さんにとって役に立つ心理士となるようにがんばります。



精神保健福祉士
杉本 篤史

分からないことばかりですが、一生懸命頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



医局秘書
友田 亮子

入職して2ヵ月が過ぎ、少しずつ仕事にもなれてきました。一人前の仕事ができるように日々努めています。



医 事
大柿 智子

いつまでも初心を忘れず、落ち着いて仕事に励みたいと思います。



医 事
渡辺 聖子

勤務して3ヵ月近く経ちますが、何事も冷静に考え判断するように心がけていきたい。



医 事
小林 弥生

入社して約1ヵ月経ちますが、とまどってばかりです。一日でも早く仕事を覚え、皆様と一緒に明るく元気に頑張ろうと思います。

20年を振り返って

栄養部 山瀬 良子



私 が病院に勤め始めてから早いもので、20年が経ってしまいましたが、語りつくせないほどのいろいろなことがありました。家庭で仕事をしていた私にとって、外に出て働くということは、一大決心しなければならぬほど勇気がいることでした。自分だけでなく、家族の協力なしにはできるはずがありませんし、子供たちにも淋しい思いをさせました。

現在は、年老いた両親と同居していますので、安心して外に働きにすることができます。当時は身体が丈夫なほうではなく、家族にも職場の人にも迷惑をかけたことがあります。ましてや、毎日が不安と緊張の連続でした。何もかもが新しいものばかり、人それぞれ、性格も違った者同士と一緒に仕事をしていくということ、とてもむずかしいと思いました。しかし仕事をしていくうちに、環境の変化なのか、年をとり、そういう時期がきたせいなのか段々と強くなってきました。

家庭にいたときと違って、生活範囲も広がり、外出することも多くなり、人と接する機会も増えてきました。その反面、悩んだり、泣いたり、笑ったり、苦あれば楽ありというような毎日でした。しかし、その当時は仕事をするだけの毎日で、振り返ってみれば単調な生活をしてきたと思います。

現 在は時代の流れでしょうか、頭を使うことが多くなってきました。あまり考えすぎて、落ち込むこともあります。でも思い直して、また頑張ろうと自分自身にいい聞かせて、毎日を過ごしています。どんなに頑張っても、くじけることは、人には誰でもあると思います。自分自身偉いことを言える立場ではありませんが、そんなときこそ、誰かに歩み寄って相談したり、腹の底から話せる人が必要なのではないのでしょうか。たまには、息抜きもしたらいいいと思うのです。仕事しているときは、一生懸命したらいいいのですけれど、誰も限界はあると思います。そういうとき、我慢しないで、はっきり言えるようになりたい、自分自身そういう面が欲しいと思っています。仕事を離れたら一人の人間として、思いっきりハネをのばしてもいいのです。私はショッピングや食事をしたり、ドライブに出かけたりしますが、人それぞれ息抜きの仕方もあると思います。絶対必要なことだと思います。

現在思うことは、苦しいこともありますが、自分のためにはプラスになったと思っています。まだまだ、勉強不足で、これから先もっとやっていかなければならないことや、試行錯誤しながら、良い仕事につながるようにスタッフ全員協力しながら、和を作っていきたいと思っています。

向陽台病院 ● 治療プログラム紹介 ●

コミュニティ(職員・患者)ミーティング
(各病棟毎、1回/週、大集団療法)

入院されている方々が病棟内でよりよい生活をするための、大切な話し合いの場です。

患者スタッフ(P-S)ミーティング
(各病棟毎、1回/週、小集団療法)

入院から退院するまでの期間、少人数のグループに分かれお互いの交流を図っていく場です。

新入院患者ミーティング(毎週土曜日)

初めて入院された方で入院後4週以内の方を対象に、入院に関する疑問や、不安を語り合う場です。

社会復帰フォーラム(第4水曜日)

すでに社会復帰された方と退院を準備されている方が、意見交換する場です。

うつミーティング(毎週木曜日)

外来・入院患者さんを中心にうつを語り合うミーティングです。

アルコールミーティング(毎週月、水2回)

外来・入院患者さんを中心に「断酒」を目的として、互いに話し合い交流を深めるミーティングです。

断酒会(第3土曜日)

自分の酒害体験を語り、仲間の体験に耳を傾けながら自分自身を振り返る場です。

摂食障害ミーティング(毎週水曜日)

拒食・過食などの食と行動の問題を語り合う場です。

摂食障害の家族教室(毎週水曜日)

摂食障害という病気について学びながらその対応などを話し合う場です。

摂食障害の栄養教室(第4水曜日)

摂食障害の患者さんとそのご家族を対象に栄養士が指導を行っています。

肥後椿会

患者さんやご家族それぞれの思いを語り、聴きながら摂食障害についての理解を深めています。

家族の心理教室(第2土曜日)

患者さんのご家族を対象に「心のABC、薬のABC」という心理教室プログラムを実施しています。

作業療法(OT)

作業を通して、物・人・空間・時などを共有する治療技法です。

心理教育(毎週水曜日)

入院の方を対象に、OTプログラムとして行っています。

デイケア・デイナイトケア

社会復帰の援助を考え、自立した生活が行えるように生活のリズムを整えるなど、それぞれの目標に応じたプログラムを行っています。

訪問看護

看護師や、精神保健福祉士が、定期的に家庭訪問し、相談や援助業務を行います。

特殊外来

児童思春期の不登校・ひきこもり、発達の問題を抱える方を対象とします。

※肥後椿会・断酒会は当院に通院されていない方もご利用いただけます。



向陽台病院ではさまざまな情報を発信しています

向陽台そよ風家族会のお知らせ



障害を負った当事者だからこそ分かる、生活のしづらさや悩みがあります。

「向陽台そよ風家族会」は、その悩みを分かち合い解決への道とともに考える、家族のための組織で、①患者様を主体に考える、②知識を養う、③学習（受容と理解）を身につける、④情報の交換、⑤会員家族の親睦を図る、を趣旨に活動しています。今年度の活動予定は別表のとおりですので、ぜひご参加ください。また、会員も募集しています。詳しくは、病院のソーシャルワーカーにお尋ねください。（PSW 湯川）

向陽台そよ風家族会・平成16年度総会を開催しました

4月25日、連休前にもかかわらず19名の方々の参加のもと、新築のデイクア棟ホールで家族会総会を開催しました。昨年度の経過報告と今年度の計画について話し合い、総会の後は向陽台病院の麻生美子看護部長による「向陽台病院のおゆみ」と題した講演を聴講しました。向陽台病院の歴史を交え、患者様の社会復帰に向けた取り組みについて分かりやすい説明と、昔の懐かしい写真も紹介され和やかな雰囲気の中、後半には病院のことや治療についての質問や要望などもありました。また、喫茶室「向さき」のおいしいコーヒーをいただき、新デイクア棟の見学もしました。病院が大きく変化していく時機を感じつつ、家族会を一層発展させていく必要を感じました。

平成16年向陽台そよ風家族会活動計画

活動予定		予定時期	場 所
定例会	協賛活動		
総会		4月24日	新デイクア棟ホール
	運動会	5月22日	院庭
講演会		7月予定	新デイクア棟ホール
	夏祭り	8月予定	院庭
懇親会		9月予定	新デイクア棟ホール
	文化祭	10月予定	向陽台病院内
新年会		平成17年1月予定	新デイクア棟ホール
講演会		平成17年1月予定	新デイクア棟ホール

（PSW 須藤）

栄養だより



食中毒に注意しましょう！ 食中毒は夏場に多発します。5月ごろから増加しはじめ、気温の上昇とともに急激に増加して7～9月にピークとなり、10月に入ると次第に減少します。1年をつうじて食中毒の危険性はありますが、この時期は特に注意が必要です。食中毒を防ぐために、次のことから実行しましょう。①食事の前には手を洗い、清潔なタオルで拭きましょう。②箸やコップ、ペットボトルは清潔にしましょう。③食品を常温のもとに長く置いておくと、細菌繁殖の危険があります。食事はつくってから1時間以内に食べましょう。（管理栄養士 江口）

これからの予定

7月 9日(金) セタバイキング…… メニューはお楽しみに！
7月21日(水) 土用の丑の日………ウナギ丼を予定しています
9月17日(金) 敬老の日バイキング… メニューはお楽しみに！
9月20日(月) 彼岸の入り……… おはぎを用意しています
9月28日(火) 十五夜………お月見饅頭や月見ゼリーを用意しています



編集後記

よりよい医療サービスが提供できるようにと6月から電子カルテが稼動。試行錯誤というよりも七転八倒?の毎日でした。今回は病棟や治療プログラムの紹介がメインですが、次回は電子カルテの苦労話でもお話しできたらと思います。（広報 松村）

向陽台病院の理念

主体性を育む病院

- 主体性が障害されている患者さんであっても、同時に多くの未知数の能力を持っている
- 患者さんは責任ある行動をとりうるし、援助能力を持っている
- 治療導入時は受動的であっても、最終目標は患者さんの主体性をとり戻すことである

援助者としてのチーム医療を行う病院

- 患者さんの援助者として、表面的でなく、必ず治療的である
- チーム内の決定は民主制を取っているわけではないが、治療上の重要な決定はチームによって成されることが最良である
- チーム内での情報の共有化は極めて大切であるが、いかなる情報も外部に漏らしてはいけない(守秘義務)

地域社会の一員を意識する病院

- 常に共同体の意識を備え、開放的で自由な雰囲気を築き、責任を持つ
- ところを癒し、ところの健康を取り戻して回復できる環境を提供できる病院とする



●診療科目 精神科・心療内科

●病床数 220床

●外来診療時間

月～金曜日	午前9時40分～12時30分 午後2時30分～5時00分
土曜日	午前9時40分～12時30分



産交バス

向坂バス停から
徒歩3分
明治乳業バス停
から徒歩3分

車

植木ICから約10分

JR

植木駅下車
タクシーで約6分



医療法人横田会 向陽台病院

〒861-0142 鹿本郡植木町大字鑑田1025 TEL:096-272-7211
<http://www.koyodai.or.jp/>